

3. 保健福祉系施設

3. 1 高齢者福祉施設

(1) 施設の概要

■ 設置の目的

高齢者福祉施設は、高齢者福祉の向上を目的とする施設で、老人ホームなどの入所施設、デイサービスセンターなどの通所施設及び誰でも一定の要件を満たせば利用できる利用施設があります。

表 施設の種類と設置目的

種類	形態	設置の目的	市が設置する施設名
養護老人ホーム	入所	65歳以上の高齢者で、家族や住居の状況など環境上の理由及び経済的に困窮している場合で、自宅での生活が困難な方が入所する施設です。	・安岡園
デイサービスセンター	通所	65歳以上の高齢者を対象に日帰りで介護サービスを提供する施設です。食事や入浴、日常動作訓練等行います。	・中デイサービスセンター ・南デイサービスセンター ・加佐デイサービスセンター
在宅介護支援センター	利用	自宅での高齢者の介護に関するあらゆる相談に応じる施設です。	・南在宅介護支援センター ・加佐在宅介護支援センター
老人福祉センター	利用	主として高齢者の健康増進、文化教養及びレクリエーション等のサービスを提供する施設です。	・老人福祉センター 文庫山学園（60歳以上の市民） ・加佐地域福祉センター 由良川学園（年齢制限無し）
老人憩の家	利用	高齢者のレクリエーションや趣味、教養活動を行うことを目的として設置する小規模集会場、会館です。主に老人クラブ等が利用しています。	・舞鶴公園集会所 ・大久保会館 ・市寿会館 ・荒田老人会館

■ 保有施設

高齢者福祉施設は10か所、延床面積7,311㎡を保有しています。このうち、中デイサービスセンターは中総合会館内に設けられています。

表 施設一覧 (2012年度(平成24年度))

施設名称	地区	所管課	施設形態	延床面積(㎡)		建築年※1	建築年数※2
安岡園	東地区	安岡園	単独	2,167.34	7,311.18	1985	27
中デイサービスセンター	東地区	高齢者支援課	複合	748.18		2000	12
南デイサービス・在宅介護支援センター	東地区	高齢者支援課	単独	658.00		1997	15
加佐デイサービス・在宅介護支援センター	加佐地区	高齢者支援課	単独	319.35		1984	28
老人福祉センター文庫山学園	東地区	文庫山学園	単独	1,986.86		1980	32
加佐地域福祉センター由良川学園	加佐地区	文庫山学園	複合	954.28		1984	28
舞鶴公園集会所(老人憩の家)	西地区	高齢者支援課	単独	141.13		1981	31
大久保会館(老人憩の家)	西地区	高齢者支援課	単独	106.78		1992	20
市寿会館(老人憩の家)	東地区	高齢者支援課	単独	119.24		1994	18
荒田老人会館(老人憩の家)	東地区	高齢者支援課	単独	110.02		1996	16

※1 建築年：一番古い棟の年を記載している。

※2 建築年数：2012年(平成24年)を基準年として算出している。

■ 配置状況

図 施設配置



■ スペース構成

表 スペース構成

施設名称	諸 室						備 考 (同一の建物内にある他の施設)
	食堂	厨房	浴室	娯楽室	会議室	その他	
安岡園	集会 室兼	●	●	面会 室兼	●	居室(2名部屋) 静養室	
中デイサービスセンター	●	●	●	×	×	日常動作訓練室 介護機器展示コー ナー	・中総合会館 中央公民館 中コミュニティーセンター 男女共同参画センター 社会福祉協議会 保健センター 中舞鶴地域包括支援センター 子育て支援基幹センター
南デイサービス ・在宅介護支援センター	●	●	●	●	●		
加佐デイサービス ・在宅介護支援センター	●	●	●	●	●		
老人福祉センター 文庫山学園	×	●	●	●	●	図書室 健康相談室 運動指導室 多目的室 大広間 茶室 教養室	
加佐地域福祉センター 由良川学園	×	×	×	●	●	大広間 ボランティアルーム 健康ルーム	・加佐診療所
舞鶴公園集会所 (老人憩の家)	×	湯沸場	×	×	×	和室 洋室	
大久保会館 (老人憩の家)	×	湯沸場	●	×	×	和室 洋室	
市寿会館 (老人憩の家)	×	湯沸場	×	×	●	和室 ステージ	
荒田老人会館 (老人憩の家)	×	●	×	×	×	和室 ステージ	

※「●・・・あり」、「×・・・なし」を表している。

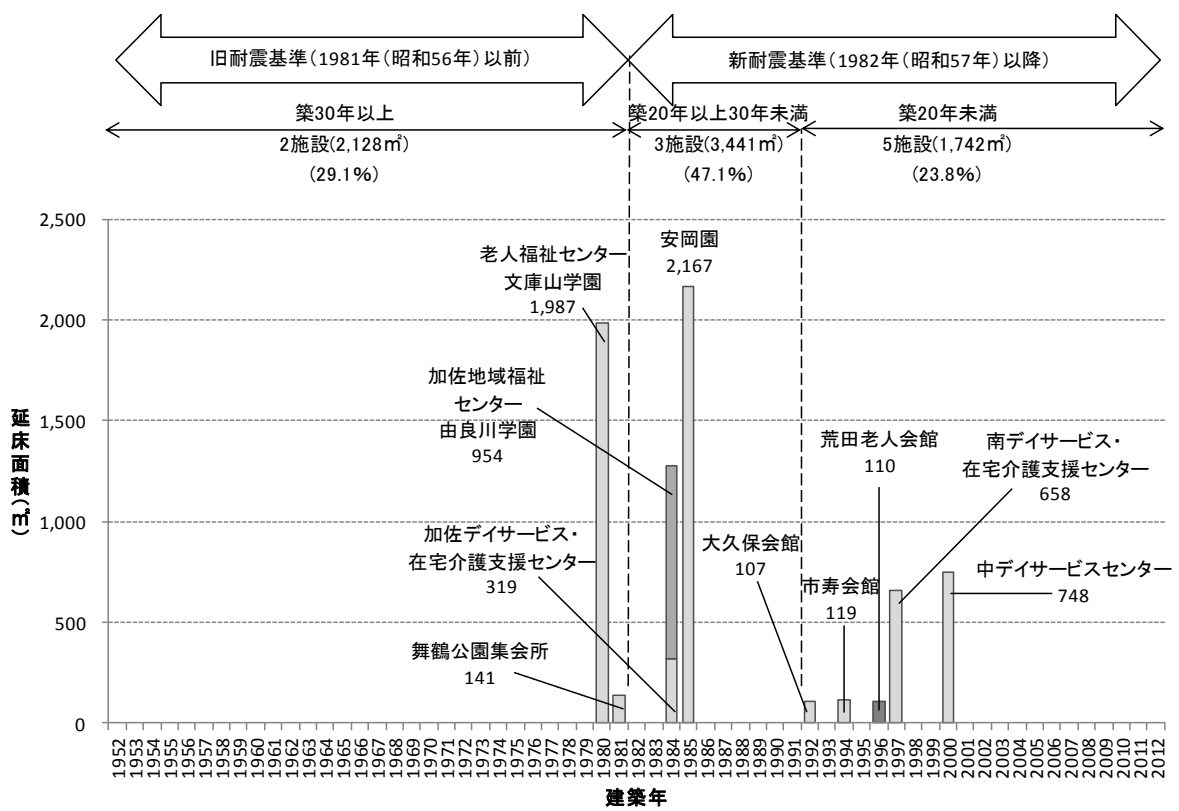
(2) 建物状況

■ 老朽化

床面積ベースで見ると、築30年以上の施設が約2,100㎡（約29%）、築20年以上30年未満が約3,400㎡（約34%）、築20年未満が1,700㎡（約24%）となっています。

比較的新しい建物が多くありますが、舞鶴公園集会所(老人憩いの家)と老人福祉センター文庫山学園では築30年を超えています。

図 築年別整備状況



※ 建築年が複数回に分かれるものについては、一番古い建築年で示している。

■ 機能改善、環境負荷低減

バリアフリー化は、老人憩の家（4 施設）の対応が遅れていますが、その他の施設においては概ね対応済みです。

環境への負荷を低減させる設備は、中デイサービスセンターが入っている中総合会館に自然エネルギー・太陽光発電施設が設置されていますが、その他の施設では設置されていません。

表 機能改善等の状況

		安岡園	中デイサービスセンター	南デイサービス・在宅介護支援センター	加佐デイサービス・在宅介護支援センター	老人福祉センター文庫山学園	加佐地域福祉センター由良川学園	舞鶴公園集会所（老人憩の家）	大久保会館（老人憩の家）	市寿会館（老人憩の家）	荒田老人会館（老人憩の家）
バリアフリー化	車いす用エレベーター	不要	●	●	×	不要	●	不要	不要	不要	不要
	身障者用トイレ	●	●	●	●	●	●	×	×	×	×
	車いす用スロープ	●	不要	●	●	●	●	×	●	×	×
	自動ドア	●	●	●	●	●	●	×	×	×	×
	手すり	●	▲	●	●	●	●	×	×	×	×
	点字ブロック	×	●	×	×	×	●	×	×	×	×
環境負荷低減	自然エネルギー・太陽光発電	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×
	屋上緑化・壁面緑化	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	環境対応設備	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

※ 「●・・・設置済み」、「▲・・・一部設置」、「×・・・設置なし」を表している。

※ 安岡園、老人福祉センター文庫山学園及び老人憩の家（4 施設）については平屋建てのため、車いすエレベーターは不要。

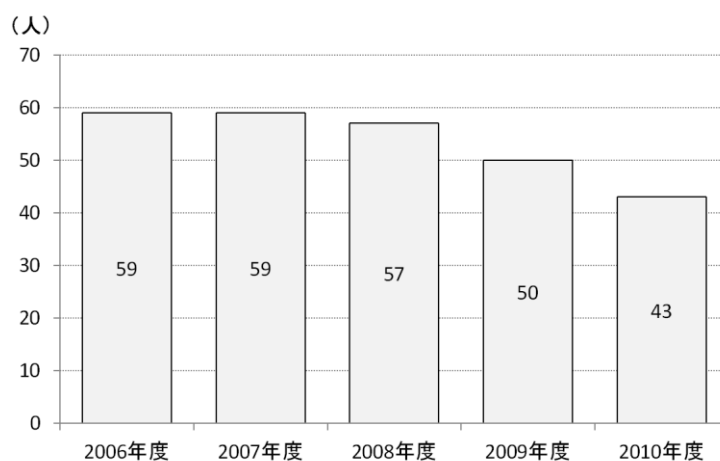
※ 中デイサービスセンターが入る中総合会館は段差がないため、車いす用スロープは不要。

(3) 利用状況

■ 入所施設（安岡園）の利用者数の推移

入所施設である安岡園の利用者数は年々減少しており、2006年度（平成18年度）からの5年間では約27%減少しています。

図 入所施設（安岡園）の利用者数の推移

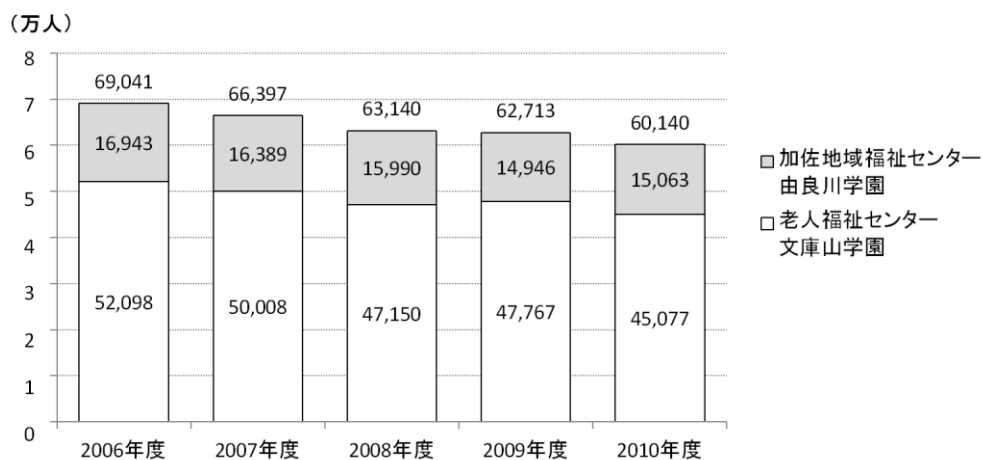


出典：舞鶴市統計書

■ 老人福祉センター等の利用状況

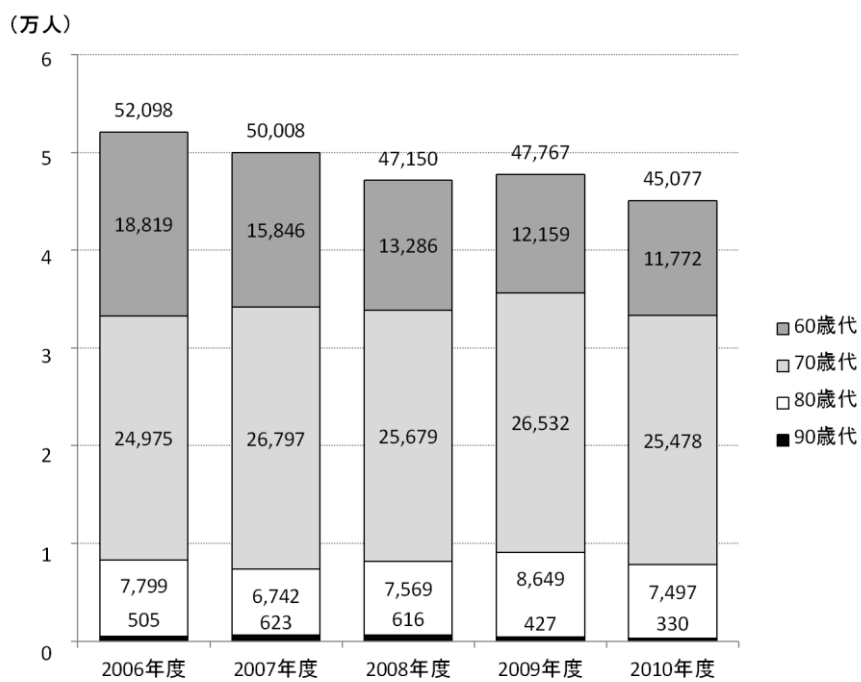
主として、高齢者の健康増進やレクリエーション等のサービスを提供している文庫山学園及び由良川学園の利用者数は年々減少しており、2006年度（平成18年度）からの5年間では約13%減少しています。特に、文庫山学園では60歳代の利用者が顕著に減少しています。

図 老人福祉センターの利用者数の推移



出典：舞鶴市統計書

図 文庫山学園の利用者数の年代別内訳と推移



出典：舞鶴市統計書

(4) 運営状況

■ 運営方法、運営日数

中デイサービスセンター、南デイサービス・在宅介護支援センター及び加佐デイサービス・在宅介護支援センターの5施設は、指定管理者により運営されています。その他の施設は直営で運営されています。養護老人ホームである安岡園は、年中無休で運営されています。デイサービスセンターもほぼ毎日9時から17時で運営されています。また、舞鶴公園集会所（老人憩いの家）を除く3つの老人憩いの家では、基本的には年中無休で9時から22時まで運営されています。

表 運営方法・運営日数

施設名称	運営方法	年間運営日数	定休日(曜日)	開所時間	閉所時間
安岡園	直営	365	-	-	-
中デイサービスセンター	指定管理	362	その他	9:00	17:00
南デイサービス・在宅介護支援センター	指定管理	361	その他	9:00	17:00
加佐デイサービス・在宅介護支援センター	指定管理	312	日	9:00	17:00
老人福祉センター文庫山学園	直営	294	その他	9:00	16:00
加佐地域福祉センター由良川学園	直営	294	その他	9:00	22:00
舞鶴公園集会所(老人憩いの家)	直営	244	土日	9:00	21:00
大久保会館(老人憩いの家)	直営	365	-	9:00	22:00
市寿会館(老人憩いの家)	直営	365	-	9:00	22:00
荒田老人会館(老人憩いの家)	直営	365	-	9:00	22:00

■ 運営人員

安岡園は、職員11名と嘱託・臨時職員22名の合計33名で運営されています。老人福祉センター文庫山学園は3名、加佐地域福祉センター由良川学園は5名で運営されています。4か所の老人憩いの家については常駐する職員はいません。

また、中デイサービスセンター、南デイサービス・在宅介護支援センター及び加佐デイサービス・在宅介護支援センターは指定管理者等の従業員により運営されています。

表 運営人員

施設名称	職員	嘱託職員	臨時職員	指定管理者等の従業員	合計(人)
安岡園	11	20	2	0	33
中デイサービスセンター	0	0	0	8	8
南デイサービス・在宅介護支援センター	0	0	0	11	11
加佐デイサービス・在宅介護支援センター	0	0	0	10	10
老人福祉センター文庫山学園	2	1	2	0	5
加佐地域福祉センター由良川学園	1	1	1	0	3
舞鶴公園集会所(老人憩いの家)	0	0	0	0	0
大久保会館(老人憩いの家)	0	0	0	0	0
市寿会館(老人憩いの家)	0	0	0	0	0
荒田老人会館(老人憩いの家)	0	0	0	0	0

※指定管理者等の従業員数は、1日当たりの人数

(5) 防災状況

■ 防災設備状況

耐震診断は、老人福祉センター文庫山学園で実施されていません。

地域防災計画上の位置付けは、安岡園及び中デイサービスセンターが入る中総合会館が避難所に指定されており、状況に応じて応急給水場所が設置されます。

避難所機能は、調理設備や冷暖房設備がほぼ全施設で、老人憩の家を除く施設では簡易トイレや入浴設備等が設置されています。

表 防災設備状況

		安岡園	中デイサービスセンター	南デイサービス・在宅介護支援センター	加佐デイサービス・在宅介護支援センター	老人福祉センター文庫山学園	加佐地域福祉センター由良川学園	舞鶴公園集会所(老人憩の家)	大久保会館(老人憩の家)	市寿会館(老人憩の家)	荒田老人会館(老人憩の家)
耐震性	耐震診断	不要	不要	不要	対象外	未実施	実施済	対象外	対象外	対象外	対象外
	耐震補強	不要	不要	不要	対象外	未実施	実施済	対象外	対象外	対象外	対象外
地域防災計画上での位置付け	災害対策本部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	避難所	●	●	×	×	×	×	×	×	×	×
	応急給水場所	●	●	×	×	×	×	×	×	×	×
	医療救護所	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
避難所機能	災害用備蓄	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	通信設備	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	簡易トイレ	●	●	●	●	×	×	×	×	×	×
	マンホールトイレ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	調理設備	●	●	●	●	●	×	●	●	●	●
	代替電源設備	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×
	冷暖房設備	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	入浴施設	●	●	●	●	●	×	×	●	×	×

※ 「●・・・あり」、「×・・・なし」を表している。

※ 耐震性の基準は、基本的に非木造の2階建て以上又は延床面積200㎡超の建物を対象とした市の調査に基づき、次のように分類している。

- ・対象外：上記の対象にならない建物
- ・不要：上記の対象建物の内、1981年(昭和56年)6月以降建築の建物、又は耐震診断を実施し耐震補強の必要がない建物
- ・実施済：上記の対象建物の内、診断・補強を実施した建物
- ・未実施：上記の対象建物の内、診断・補強を実施していない建物

■ 自然災害に対する安全性

ハザードマップ(洪水)で見ると、舞鶴公園集会所(老人憩の家)は0.5m未満の浸水が、加佐デイサービス・在宅介護支援センター及び加佐地域福祉センター由良川学園は1.0から3.0m未満の浸水が、それぞれ予想されるエリアに立地しています。

(6) コスト状況

■ 運営コスト

2010 年度（平成 22 年度）の各施設の運営にかかるコストの状況は以下のとおりで、年間約 4 億 6,200 万円をかけて運営されています。このうち、市の財政からの支出（行政コスト）は指定管理委託料を含む約 2 億 5,000 万円です。

表 施設別の運営コスト（2010 年度（平成 22 年度））

		(円)						
		安岡園	中デイサービスセンター	南デイサービス・在宅介護支援センター	加佐デイサービス・在宅介護支援センター	老人福祉センター 文庫山学園	加佐地域福祉センター 由良川学園	
建物に係るコスト（維持管理費等）	燃料費	222,907	2,020,953	955,062	2,096,144	11,614	0	
	光熱水費	電気代	3,188,142	※1	※1	※1	2,686,902	1,264,033
		油代	7,745,187	※1	※1	※1	1,893,276	0
		ガス代	587,104	※1	※1	※1	3,250	26,752
		上下水道代	3,560,844	※1	※1	※1	1,718,876	69,063
	計	15,081,277	4,731,445	6,537,571	113,454	6,302,304	1,359,848	
	修繕料	1,093,849	2,716,353	863,572	1,789,567	1,419,644	651,237	
	建物管理委託料	5,901,440	0	427,980	0	4,126,866	5,527,725	
	使用賃借料	地代	0	0	1,739,891	0	0	0
		その他	275,857	296,727	847,060	552,828	303,700	652,682
	計	275,857	296,727	2,586,951	552,828	303,700	652,682	
	工事請負費	3,838,203	81,742	0	3,624,988	143,850	683,456	
	公有財産・備品購入費	371,991	1,049,996	1,257,824	83,972	3,238,725	421,680	
	負担金等	14,551	8,376	6,503	5,235	12,903	119,910	
合計(a)	26,800,075	10,905,592	12,635,463	8,266,188	15,559,606	9,416,538		
事業運営費	人件費	100,828,055	49,936,352	67,034,559	35,970,154	21,759,624	4,344,831	
	その他	58,849,252	12,502,706	13,206,513	7,444,238	4,230,427	1,045,401	
	合計(b)	159,677,307	62,439,058	80,241,072	43,414,392	25,990,051	5,390,232	
運営コスト(a+b)	186,477,382	73,344,650	92,876,535	51,680,580	41,549,657	14,806,770		
減価償却費(c)	4,772,467	6,630,355	3,443,314	1,728,094	10,397,238	2,672,333		
トータルコスト(a+b+c)	191,249,849	79,975,005	96,319,849	53,408,674	51,946,895	17,479,103		
行政コスト	指定管理委託料	0	※2 0	815,147	※2 0	0	0	
	その他行政支出額	186,477,382	90,118	1,503,497	3,755,698	41,549,657	14,806,770	
	合計	186,477,382	90,118	2,318,644	3,755,698	41,549,657	14,806,770	

※1：3 施設は光熱水費合計での費用負担のため内訳不明

※2：委託料を伴わない指定管理委託を実施しているため、行政コスト=運営コストにならない。

表 施設別の運営コスト（2010年度（平成22年度））

（円）

		舞鶴公園集会所 (老人憩の家)	大久保会館 (老人憩の家)	市寿会館 (老人憩の家)	荒田老人会館 (老人憩の家)	合計	
建物に係るコスト (維持管理費等)	燃料費	435	0	0	0	5,307,115	
	光熱水費	電気代	172,778	98,265	139,938	185,412	※1
		油代	0	0	0	0	※1
		ガス代	0	20,887	2,880	3,623	※1
		上下水道代	0	0	0	24,180	※1
		計	172,778	119,152	142,818	213,215	34,773,862
		修繕料	12,075	2,625	0	0	8,548,922
		建物管理委託料	355,635	0	0	0	16,339,646
	賃借料・使用料	地代	0	0	0	0	1,739,891
		その他	14,910	0	0	0	2,943,764
		計	14,910	0	0	0	4,683,655
		工事請負費	88,200	0	0	0	8,460,439
		公有財産・備品購入費	0	0	0	0	6,424,188
		負担金等	0	7,670	11,373	7,706	194,227
	合計(a)	644,033	129,447	154,191	220,921	84,732,054	
事業運営費	人件費	0	0	0	0	279,873,575	
	その他	0	0	0	0	97,278,537	
	合計(b)	0	0	0	0	377,152,112	
	運営コスト(a+b)	644,033	129,447	154,191	220,921	461,884,166	
	減価償却費(c)	738,533	307,367	377,667	324,450	31,391,818	
	トータルコスト(a+b+c)	1,382,566	436,814	531,858	545,371	493,275,984	
行政コスト	指定管理委託料	0	0	0	0	815,147	
	その他行政支出額	644,033	129,447	154,191	220,921	249,331,214	
	合計	644,033	129,447	154,191	220,921	250,146,361	

※1：3施設は光熱水費合計での費用負担のため内訳不明

運営コストの内訳は、事業運営費が約 3 億 7,715 万円（約 82%）、光熱水費が約 3,477 万円（約 8%）、建物管理委託料が約 1,634 万円（約 4%）です。

図 全体の運営コストの内訳（2010 年度（平成 22 年度））

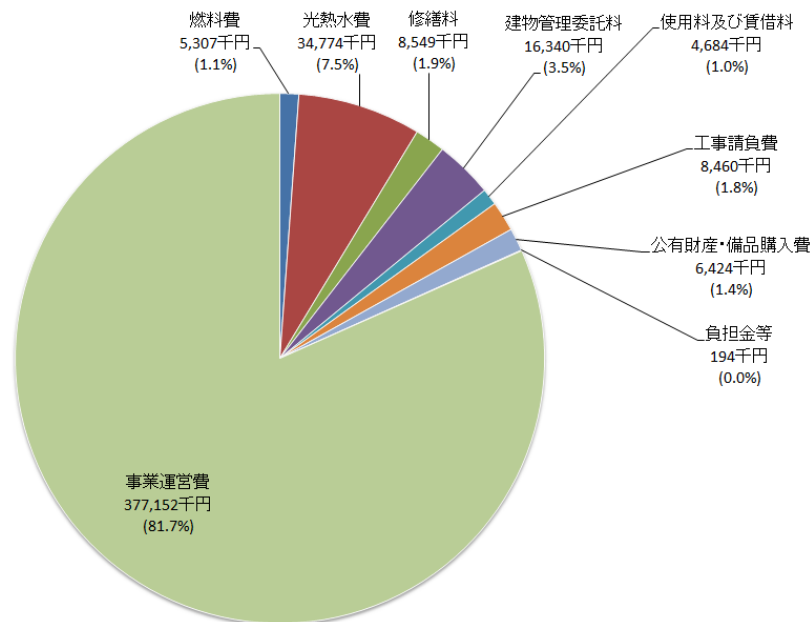
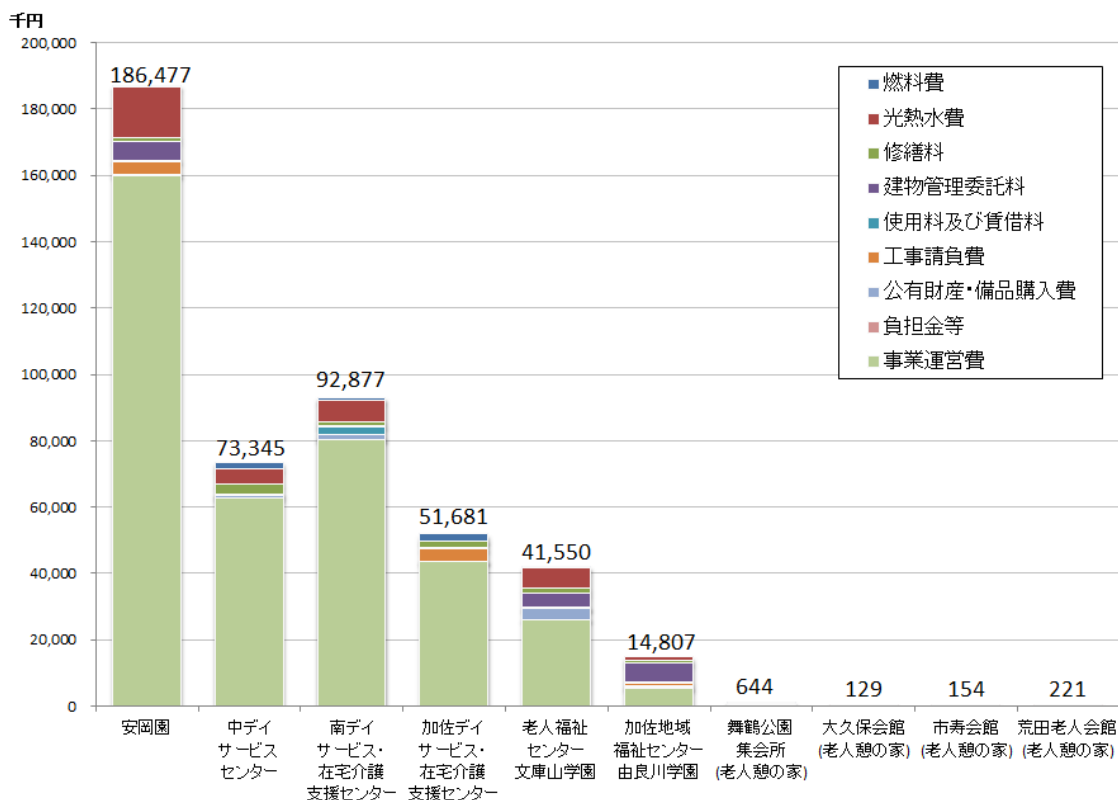


図 施設別の運営コストの内訳（2010 年度（平成 22 年度））



■ 維持管理経費（光熱水費、修繕料、建物管理委託料）

高齢者福祉施設全体の維持管理経費（光熱水費、修繕料、建物管理委託料）として、約 5,966 万円が支出されています。内訳は、光熱水費が約 3,477 万円（約 58%）、修繕料が約 855 万円（約 14%）、建物管理委託料が約 1,634 万円（約 27%）です。

施設別には、約 12 万円（大久保会館）から約 2,208 万円（安岡園）で、これを施設の延床面積 1 m²当たりの維持管理経費でみると平均は 8,160 円です。老人憩いの家を除く 6 か所では、最も低いのが加佐デイサービス・在宅介護支援センターの 5,959 円、最も高いのが南デイサービス・在宅介護支援センターの 11,898 円です。一方、4 か所の老人憩いの家では、最も低いのが大久保会館の 1,140 円で、最も高いのが舞鶴公園集会所の 3,830 円です。

表 施設別の 1 m²当たりの維持管理経費（2010 年度（平成 22 年度））

(円)

		安岡園	中デイサービスセンター	南デイサービス・在宅介護支援センター	加佐デイサービス・在宅介護支援センター	老人福祉センター文庫山学園	加佐地域福祉センター由良川学園
延床面積(m ²)		2,167.34	748.18	658.00	319.35	1,986.86	954.28
維持管理経費	光熱水費	15,081,277	4,731,445	6,537,571	113,454	6,302,304	1,359,848
	修繕料	1,093,849	2,716,353	863,572	1,789,567	1,419,644	651,237
	建物管理委託料	5,901,440	0	427,980	0	4,126,866	5,527,725
	合計	22,076,566	7,447,798	7,829,123	1,903,021	11,848,814	7,538,810
1 m ² 当たりの維持管理経費	光熱水費	6,958	6,324	9,936	355	3,172	1,425
	修繕料	505	3,631	1,312	5,604	715	682
	建物管理委託料	2,723	0	650	0	2,077	5,793
	合計	10,186	9,955	11,898	5,959	5,964	7,900

(円)

		舞鶴公園集会所(老人憩の家)	大久保会館(老人憩の家)	市寿会館(老人憩の家)	荒田老人会館(老人憩の家)	合計	平均
延床面積(m ²)		141.13	106.78	119.24	110.02	7,311.18	731.12
維持管理経費	光熱水費	172,778	119,152	142,818	213,215	34,773,862 (58.3%)	3,477,386
	修繕料	12,075	2,625	0	0	8,548,922 (14.3%)	854,892
	建物管理委託料	355,635	0	0	0	16,339,646 (27.4%)	1,633,965
	合計	540,488	121,777	142,818	213,215	59,662,430 (100.0%)	5,966,243
1 m ² 当たりの維持管理経費	光熱水費	1,224	1,116	1,198	1,938	-	4,756
	修繕料	86	25	0	0	-	1,169
	建物管理委託料	2,520	0	0	0	-	2,235
	合計	3,830	1,140	1,198	1,938	-	8,160

■ 将来コスト

今後40年間に於ける大規模改修、建替え及び耐震改修に必要な投資的経費と維持管理費の合計は約75億1,000万円、年平均で約1億9,000万円と見込まれます。

このうち、当面の10年間に必要なコストは、安岡園、加佐デイサービスセンター・在宅介護支援センター、老人福祉センター文庫山学園、加佐地域福祉センター由良川学園及び舞鶴公園集会所での大規模改修に加えて、老人福祉センター文庫山学園での耐震改修のための投資的経費約14億6,000万円と、全施設の維持管理費約8億5,000万円で、合計約23億1,000万円となり、年平均では約2億3,000万円と見込まれます。

表 施設の維持に必要なコスト

(億円)

	40年間で必要なコスト	直近10年間で必要なコスト											
		安岡園	中 デイサービス センター	南 デイサービス ・在宅介護 支援センター	加佐 デイサービス ・在宅介護 支援センター	老人福祉 センター 文庫山学園	加佐地域 福祉センター 由良川学園	舞鶴公園 集会所 (老人憩の家)	大久保会館 (老人憩の家)	市寿会館 (老人憩の家)	荒田老人 会館 (老人憩の家)	合計	
投資的 建替え	22.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
耐震改修	0.6	-	-	-	-	0.6	-	-	-	-	-	-	-
経費計	41.2	5.4	-	-	0.8	5.6	2.4	0.4	-	-	-	-	-
(年平均)	(1.03)	(0.54)	-	-	(0.08)	(0.56)	(0.24)	(0.04)	-	-	-	-	(1.46)
維持管理費等	33.9	2.7	1.1	1.3	0.8	1.6	0.9	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	8.5
合計	75.1	8.1	1.1	1.3	1.6	7.2	3.3	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	23.1
(年平均)	(1.88)	(0.81)	(0.11)	(0.13)	(0.16)	(0.72)	(0.33)	(0.05)	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(2.31)

図 今後40年間で施設の維持に必要なコストの内訳

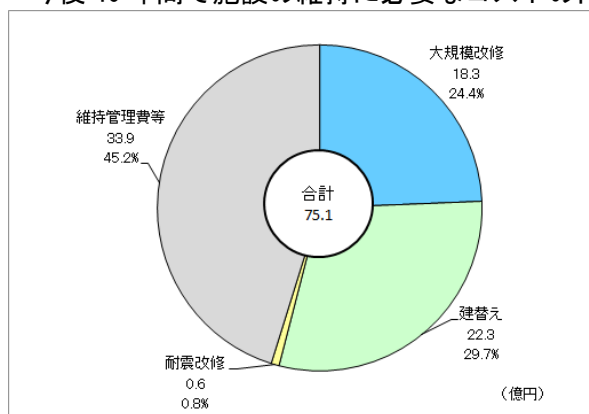
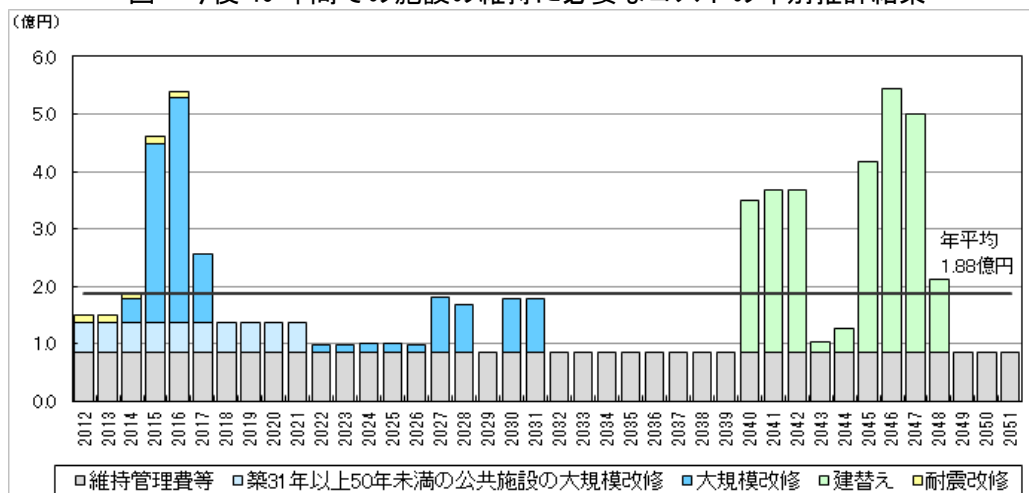


図 今後40年間の施設の維持に必要なコストの年別推計結果



※各将来コストの算定方法は巻末を参照

(7) 評価(まとめ)

■ 現状・課題

施設の保有状況	<ul style="list-style-type: none">➢高齢者福祉施設は10か所、延床面積7,311㎡を保有しています。➢このうち、入所施設は1か所、通所施設は2か所、利用施設は7か所です。また、中デイサービスセンターは中総合会館内に設けられています。
建物状況	<ul style="list-style-type: none">➢比較的新しい建物が多くありますが、舞鶴公園集会所(老人憩いの家)と老人福祉センター文庫山学園では築30年を超えています。➢バリアフリー化は、老人憩いの家(4か所)の対応が遅れていますが、その他の施設においては概ね対応済みです。➢環境への負荷を低減させる設備は、中デイサービスセンターが入っている中総合会館に自然エネルギー・太陽光発電施設が設置されていますが、その他の施設では設置されていません。
利用・運営状況	<ul style="list-style-type: none">➢入所施設(安岡園)及び利用施設(加佐地域福祉センター由良川学園と老人福祉センター文庫山学園)の利用者は減少しています。➢中デイサービスセンター、南デイサービス・在宅介護支援センター及び加佐デイサービス・在宅介護支援センターの5施設は指定管理者により運営されています。その他の施設は直営で運営されています。
防災対応状況	<ul style="list-style-type: none">➢耐震診断は、老人福祉センター文庫山学園で実施されていません。➢地域防災計画上の位置付けは、安岡園及び中デイサービスセンターが入っている中総合会館が、避難所に指定されています。➢加佐デイサービス・在宅介護支援センター、加佐地域福祉センター由良川学園及び舞鶴公園集会所(老人憩いの家)の3か所が河川氾濫時に浸水被害が予想されるエリアに立地しています。
コスト状況	<ul style="list-style-type: none">➢2010年度(平成22年度)の運営コストは約4億6,200万円で、事業運営費が約82%、建物に係るコスト(維持管理費等)が約18%で、市の財政からの支出(行政コスト)は指定管理委託料を含む約2億5,000万円です。➢延床面積1㎡当たりの維持管理経費は平均で8,160円です。➢今後40年間に必要な将来コスト(事業運営費を除く)は約75億1,000万円(年平均約1億9,000万円)で、当面10年間では、安岡園、加佐デイサービス・在宅介護支援センター、老人福祉センター文庫山学園、加佐地域福祉センター由良川学園及び舞鶴公園集会所での大規模改修に加えて、老人福祉センター文庫山学園での耐震改修のために約14億6,000万円の投資的経費が必要になります。

■ 改善の方向性

- 入所施設である安岡園については、施設の有効活用やコスト削減の観点から、セーフティネットとしての役割にも配慮しつつ、施設のあり方や運営方法等について検討する必要があります。
- 通所施設及び利用施設については、今後も高齢化の進展に伴い、需要が増加するものと考えられるため、公民館事業（生涯学習）等との連携や民間施設の活用など、運営コストの削減や施設の有効活用を進めていく必要があります。

3. 2 保健施設

(1) 施設の概要

■ 設置の目的

保健施設は、住民に対しての健康相談、保健指導及び健康診査その他地域保健に関する必要な事業を行うことを目的に設置されています。

■ 保有施設

保健施設として中総合会館に設置されている保健センターがあり、健康相談に関する事業、保健指導に関する事業、健康診査に関する事業、健康教育に関する事業及び予防接種に関する事業等を行っています。

表 施設一覧 (2012 年度 (平成 24 年度))

施設名称	地区	所管課	施設形態	延床面積 (㎡)	建築年 ^{※1}	建築年数 ^{※2}
保健センター	東地区	健康増進課	複合	2,535.79	2000	12

※1 建築年：一番古い棟の年を記載している。

※2 建築年数：2012 年 (平成 24 年) を基準年として算出している。

■ 配置状況

図 施設配置



■ スペース構成

表 スペース構成

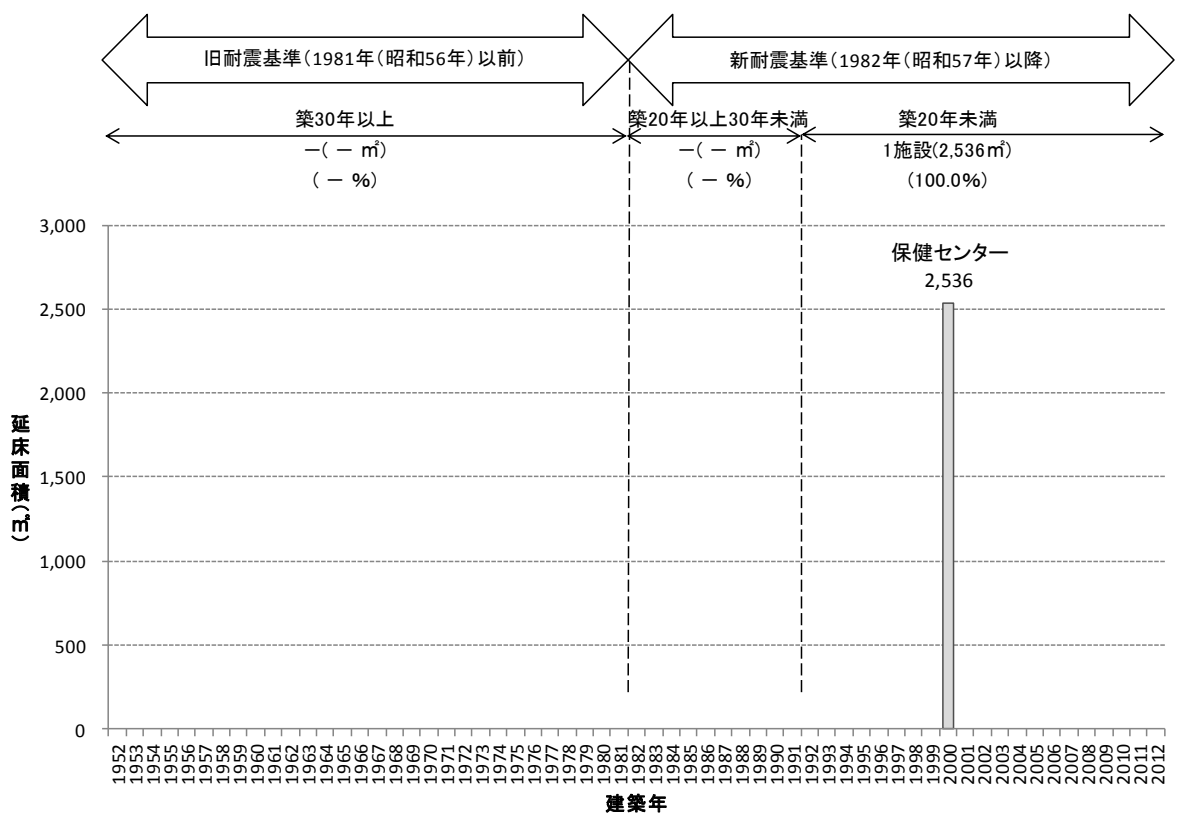
施設名称	諸 室	備 考 (同一の建物内にある他の施設)
保健センター	栄養指導室 多目的ルーム 消毒室 歯科健診室 乳幼児健診室 診察室 視力聴力検査室 会議室 集団健診室 健康チェックコーナー	・中総合会館 中央公民館 中デイサービスセンター 中コミュニティーセンター 男女共同参画センター 社会福祉協議会 中舞鶴地域包括支援センター 子育て支援基幹センター

(2) 建物状況

■ 老朽化

保健センターが設けられている中総合会館は、2000年（平成12年）開設で、築12年と比較的新しい施設です。

図 築年別整備状況



※ 建築年が複数回に分かれるものについては、一番古い建築年で示している。

■ 機能改善、環境負荷低減

バリアフリー化は、一部を除きほぼ対応済みです。

環境への負荷を低減させる設備は、保健センターが入っている中総合会館に自然エネルギー・太陽光発電施設が設置されています。

表 機能改善等の状況

		保健センター
バリアフリー化	車いす用エレベーター	●
	身障者用トイレ	●
	車いす用スロープ	不要
	自動ドア	●
	手すり	▲
	点字ブロック	●
環境負荷低減	自然エネルギー・太陽光発電	●
	屋上緑化・壁面緑化	×
	環境対応設備	×

※ 「●・・・設置済み」、「▲・・・一部設置」、「×・・・設置なし」を表している。

※ 保健センターが入る中総合会館は段差がないため、車いす用スロープは不要。

(3) 利用状況

■ 利用者数、利用件数

保健センターの年間利用者は約 17,300 人（400 件）です。

表 利用者数・利用件数（2010 年度（平成 22 年度））

施設名称	年間運営日数	年間利用者数	1日当たり利用者数	年間利用件数	1件当たり利用者数
	日	人	人/日	件	人/件
保健センター	254	17,315	68.2	400	43.3

(4) 運営状況**■ 運営方法、運営日数**

保健センターは直営で運営されています。

年間運営日数は254日、運営時間は8時30分から17時までです。

表 運営方法・運営日数

施設名称	運営方法	年間運営日数	定休日(曜日)	開所時間	閉所時間
保健センター	直営	254	土日祝	8:30	17:00

■ 運営人員

職員20名及び臨時職員18名の合計38名で運営されています。

表 運営人員

施設名称	職員	嘱託職員	臨時職員	指定管理者等の従業員	合計(人)
保健センター	20	0	18	0	38

(5) 防災状況

■ 防災設備状況

耐震性は確保されています。

地域防災計画上の位置付けは、保健センターが入る中総合会館が避難所に指定されており、状況に応じて応急給水場所が設置されます。

避難所機能は、調理設備、代替電源設備及び冷暖房設備が設置されています。

表 防災設備状況

		保健センター
耐震性	耐震診断	不要
	耐震補強	不要
地域防災計画上の位置付け	災害対策本部	—
	避難所	●
	応急給水場所	●
	医療救護所	×
避難所機能	災害用備蓄	×
	通信設備	×
	簡易トイレ	×
	マンホールトイレ	×
	調理設備	●
	代替電源設備	●
	冷暖房設備	●
	入浴施設	×

※ 「●・・あり」、「×・・なし」を表している。

※ 耐震性の基準は、基本的に非木造の2階建て以上又は延床面積200㎡超の建物を対象とした市の調査に基づき、次のように分類している。

- ・対象外：上記の対象にならない建物
- ・不要：上記の対象建物の内、1981年（昭和56年）6月以降建築の建物、又は耐震診断を実施し耐震補強の必要がない建物
- ・実施済：上記の対象建物の内、診断・補強を実施した建物
- ・未実施：上記の対象建物の内、診断・補強を実施していない建物

■ 自然災害に対する安全性

ハザードマップ（洪水）で見ると、保健センターは浸水想定区域外です。

(6) コスト状況

■ 運営コスト

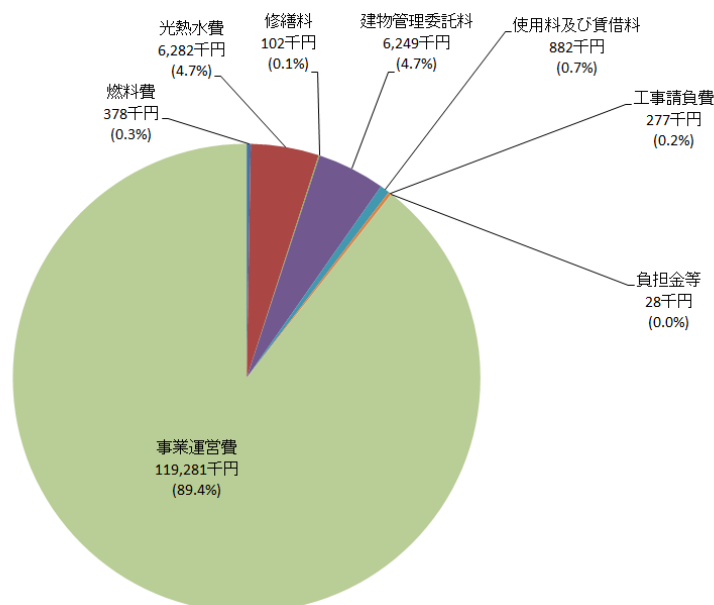
2010 年度（平成 22 年度）の施設の運営にかかるコストの状況は以下のとおりで、年間約 1 億 3,300 万円をかけて運営されており、その全額が市の財政からの支出（行政コスト）です。

表 施設の運営コスト（2010 年度（平成 22 年度））

		(円)	
		保健センター	
建物に係るコスト（維持管理費等）	燃料費		377,763
	光熱水費	電気代	3,913,051
		油代	1,837,322
		ガス代	51,984
		上下水道代	479,254
		計	6,281,611
	修繕料		101,850
	建物管理委託料		6,249,366
	使用賃借料	地代	881,867
		その他	0
		計	881,867
	工事請負費		277,043
	公有財産・備品購入費		0
負担金等		28,387	
合計(a)		14,197,887	
事業運営費	人件費	117,433,097	
	その他	1,847,653	
	合計(b)	119,280,750	
運営コスト(a+b)		133,478,637	
減価償却費(c)		22,472,115	
トータルコスト(a+b+c)		155,950,752	
行政コスト	指定管理委託料	0	
	その他行政支出額	133,478,637	
	合計	133,478,637	

運営コストの内訳は、事業運営費が約1億1,928万円（約89%）、光熱水費が約628万円（約5%）、建物管理委託料が約625万円（約5%）です。

図 運営コストの内訳（2010年度（平成22年度））



■ 維持管理経費（光熱水費、修繕料、建物管理委託料）

維持管理経費（光熱水費、修繕料、建物管理委託料）として、約1,263万円が支出されています。内訳は、光熱水費が約628万円（約50%）、修繕料が約10万円（約1%）、建物管理委託料が約625万円（約49%）です。延床面積1㎡当たりの維持管理経費は4,982円です。

表 1㎡当たりの維持管理経費（2010年度（平成22年度））

		(円)
		保健センター
延床面積(㎡)		2,535.79
維持管理経費	光熱水費	6,281,611 (49.7%)
	修繕料	101,850 (0.8%)
	建物管理委託料	6,249,366 (49.5%)
	合計	12,632,827 (100.0%)
維持管理経費の1㎡当たり	光熱水費	2,477
	修繕料	40
	建物管理委託料	2,464
	合計	4,982

■ 将来コスト

今後40年間における大規模改修、建替え及び耐震改修に必要な投資的経費と維持管理費の合計は約12億円、年平均で約3,000万円と見込まれます。

このうち、当面の10年間に必要なコストは、施設の維持管理費のみの約1億4,000万円で、年平均では約1,000万円と見込まれます。

表 施設の維持に必要なコスト

		(億円)	
		40年間で 必要なコスト	直近10年間で 必要なコスト
投資的 経費	大規模改修	6.3	-
	建替え	-	-
	耐震改修	-	-
	計	6.3	-
(年平均)		(0.16)	-
維持管理費等		5.7	1.4
合計		12.0	1.4
(年平均)		(0.30)	(0.14)

図 今後40年間で施設の維持に必要なコストの内訳

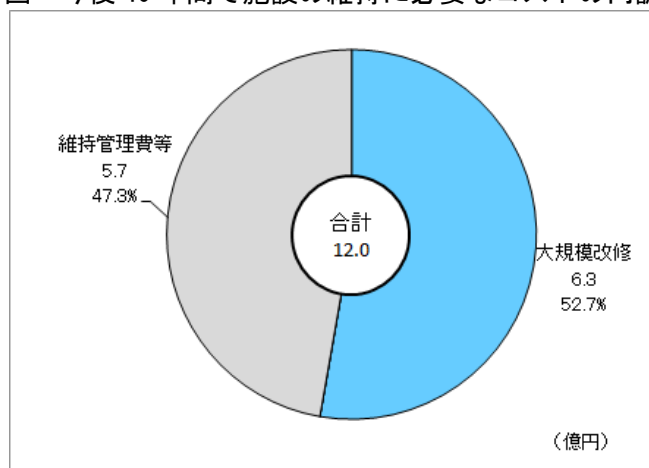
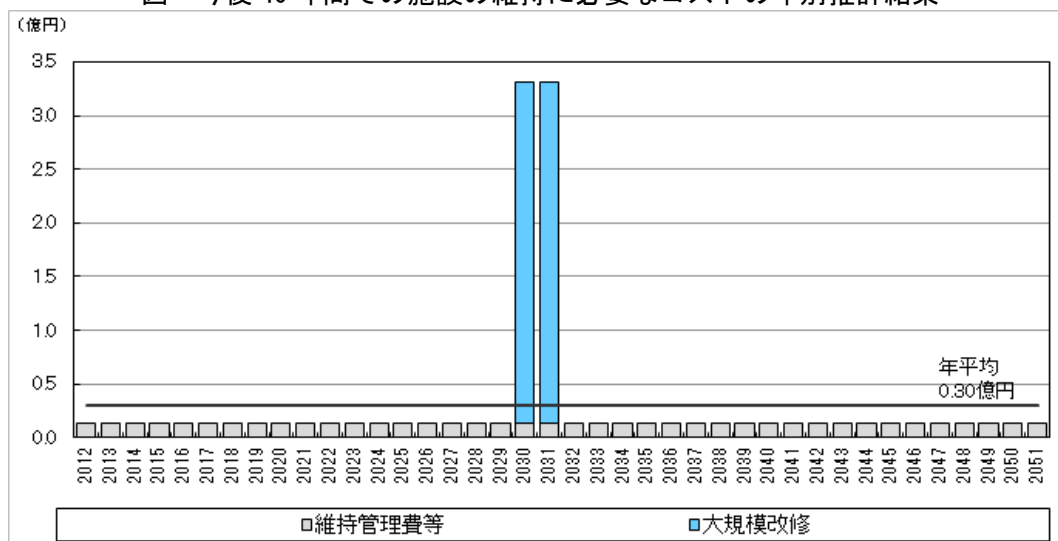


図 今後40年間で施設の維持に必要なコストの年別推計結果



※各将来コストの算定方法は巻末を参照

(7) 評価(まとめ)

■ 現状・課題

施設の保有状況	➤保健施設は、中総合会館(中央公民館)に設けられた保健センター1 か所(延床面積 2,536 m ²)があります。
建物状況	➤保健センターが設けられている中総合会館は、2000年(平成12年)開設の新しい施設です。 ➤バリアフリー化は、一部を除きほぼ対応済みで、環境への負荷を低減させる設備も一部導入されています。
利用・運営状況	➤保健施設は直営で運営されており、2010年度(平成22年度)の利用者は17,315人です。
防災対応状況	➤耐震性は確保されています。 ➤地域防災計画上の位置付けは、保健センターが設置されている中総合会館が避難所に指定されています。
コスト状況	➤2010年度(平成22年度)の運営コストは約1億3,300万円で、事業運営費が約89%、建物に係るコスト(維持管理費等)が約11%で、全額が市の財政からの支出(行政コスト)です。 ➤延床面積1m ² 当たりの維持管理経費は4,982円です。 ➤今後40年間に必要な将来コスト(事業運営費を除く)は約12億円(年平均約3,000万円)で、当面10年間では大規模改修費等の投資的経費は必要ありません。

■ 改善の方向性

- 2000年(平成12年)に建築された中総合会館内にあり、老朽化や耐震面などの建物に関わる課題はありません。舞鶴市の保健行政の要として必要不可欠な施設であり、施設の長寿命化や計画的な維持管理について検討していく必要があります。

3. 3 障害者福祉施設

(1) 施設の概要

■ 設置の目的

障害者福祉施設は、住民に対して障害者福祉（身体、知的発達、精神に障害を持つ人々に対して自立を支援する福祉サービス）を提供することを目的に設置されている施設です。

■ 保有施設

障害者福祉施設は、身体障害者福祉センター及び障害者総合支援センターの2か所、延床面積1,302㎡を保有しています。

表 施設一覧（2012年度（平成24年度））

施設名称	地区	所管課	施設形態	延床面積(㎡)	建築年 ^{※1}	建築年数 ^{※2}
身体障害者福祉センター	東地区	障害福祉課	単独	764.99	1,302.31	1982
障害者総合支援センター	東地区	障害福祉課	単独	537.32		1990

※1 建築年：一番古い棟の年を記載している。

※2 建築年数：2012年（平成24年）を基準年として算出している。

■ 配置状況

図 施設配置



■ スペース構成

表 スペース構成

施設名称	諸 室						備 考 (同一の建物内にある他の施設)
	訓練室	作業室	集会室	図書室	サロン	その他	
身体障害者福祉センター	●	●	●	●	●	録音室 和室 ギャラリー	
障害者総合支援センター	●	●	×	×	×	研修室 事務所	

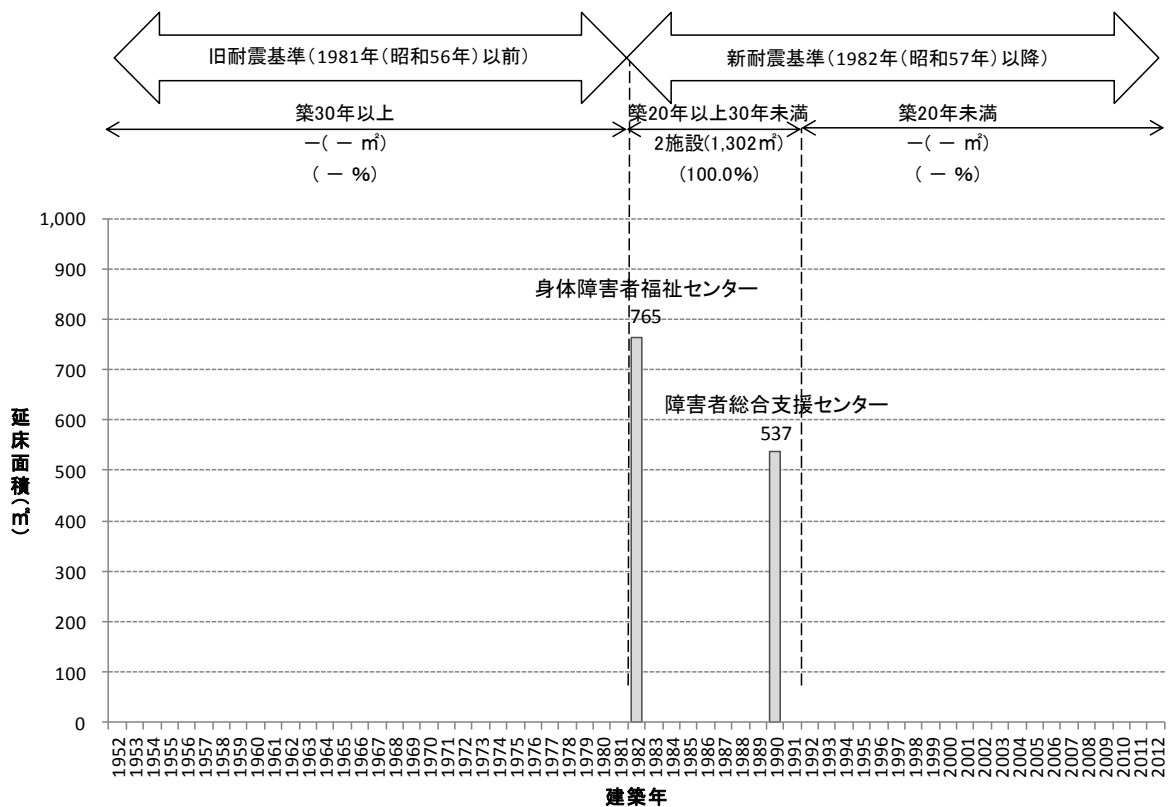
※ 「●・・・あり」、「×・・・なし」を表している。

(2) 建物状況

■ 老朽化

施設の築年数は、身体障害者福祉センターが築30年、障害者総合支援センターが築22年です。

図 築年別整備状況



※ 建築年が複数回に分かれるものについては、一番古い建築年で示している。

■ 機能改善、環境負荷低減

バリアフリー化は、一部を除きほぼ対応済みですが、環境への負荷を低減させる設備は設置されていません。

表 機能改善等の状況

		身体障害者福祉センター	障害者総合支援センター
バリアフリー化	車いす用エレベーター	●	●
	身障者用トイレ	●	●
	車いす用スロープ	●	×
	自動ドア	●	●
	手すり	●	●
	点字ブロック	●	×
環境負荷低減	自然エネルギー・太陽光発電	×	×
	屋上緑化・壁面緑化	×	×
	環境対応設備	×	×

※ 「●・・・設置済み」、「▲・・・一部設置」、「×・・・設置なし」を表している。

(3) 利用状況

■ 利用者数

各施設の年間利用者数は、身体障害者福祉センターでは約 14,700 人、障害者総合支援センターでは約 3,500 人です。

表 利用者数・利用件数（2010 年度（平成 22 年度））

施設名称	年間 運営日数	年間 利用者数	1日当たりの 利用者数
	日	人	人/日
身体障害者福祉センター	359	14,741	41.1
障害者総合支援センター	255	3,489	13.7

(4) 運営状況**■ 運営方法、運営日数**

2施設とも業務委託により運営されています。身体障害者福祉センターは年間 359 日、障害者総合支援センターは土日を定休日として運営されています。運営時間はいずれも 8 時 30 分から 17 時までです。

表 運営方法・運営日数

施設名称	運営方法	年間運営日数	定休日(曜日)	開所時間	閉所時間
身体障害者福祉センター	業務委託	359	年末年始	8:30	17:00
障害者総合支援センター	業務委託	255	土日、年末年始	8:30	17:00

■ 運営人員

2施設とも社会福祉法人に業務委託し、運営しています。身体障害者福祉センターは 22 名、障害者総合支援センターは 10 名で運営されています。

表 運営人員

施設名称	職員	嘱託職員	臨時職員	委託業者の従業員	合計(人)
身体障害者福祉センター	0	0	0	22	22
障害者総合支援センター	0	0	0	10	10

(5) 防災状況

■ 防災設備状況

2施設とも耐震性が確保されています。

地域防災計画上の位置付けは、2施設とも避難所として指定されていません。

避難所機能は、身体障害者福祉センターでは調理設備及び冷暖房設備が、障害者総合支援センターでは冷暖房設備が設置されています。

表 防災設備状況

		身体障害者福祉センター	障害者総合支援センター
耐震性	耐震診断	不要	不要
	耐震補強	不要	不要
地域 位置 防災 計画 での	災害対策本部	—	—
	避難所	×	×
	応急給水場所	×	×
	医療救護所	×	×
避難所 機能	災害用備蓄	×	×
	通信設備	×	×
	簡易トイレ	×	×
	マンホールトイレ	×	×
	調理設備	●	×
	代替電源設備	×	×
	冷暖房設備	●	●
	入浴施設	×	×

※ 「●・・あり」、「×・・なし」を表している。

※ 耐震性の基準は、基本的に非木造の2階建て以上又は延床面積200㎡超の建物を対象とした市の調査に基づき、次のように分類している。

- ・対象外：上記の対象にならない建物
- ・不要：上記の対象建物の内、1981年（昭和56年）6月以降建築の建物、又は耐震診断を実施し耐震補強の必要がない建物
- ・実施済：上記の対象建物の内、診断・補強を実施した建物
- ・未実施：上記の対象建物の内、診断・補強を実施していない建物

■ 自然災害に対する安全性

ハザードマップ（洪水）で見ると、2施設とも浸水想定区域外です。

(6) コスト状況

■ 運営コスト

2010年度（平成22年度）の両施設の運営にかかるコストの状況は以下のとおりで、約8,600万円をかけて運営されています。このうち、市の財政からの支出（行政コスト）は業務委託料を含む8,000万円です。

利用者1人当たりの行政コストの平均は4,363円で、身体障害者福祉センターでは3,568円、障害者総合支援センターでは7,723円です。

表 施設別の運営コスト（2010年度（平成22年度））

		(円)			
		身体障害者福祉センター	障害者総合支援センター	合計	
建物に係るコスト (維持管理費等)	燃料費	746,860	375,380	1,122,240	
	光熱水費	電気代	1,301,993	※1	※1
		油代	0	※1	※1
		ガス代	80,645	※1	※1
		上下水道代	219,272	※1	※1
		計	1,601,910	982,033	2,583,943
	修繕料	860,800	26,250	887,050	
	建物管理委託料	1,894,954	42,000	1,936,954	
	賃借料	地代	0	163,552	163,552
		その他	0	96,435	96,435
	計	0	259,987	259,987	
	工事請負費	0	0	0	
	公有財産・備品購入費	1,316,760	9,725	1,326,485	
負担金等	6,482	3,370	9,852		
合計(a)	6,427,766	1,698,745	8,126,511		
事業運営費	人件費	45,757,309	22,173,017	67,930,326	
	その他	6,803,314	3,456,655	10,259,969	
	合計(b)	52,560,623	25,629,672	78,190,295	
運営コスト(a+b)		58,988,389	27,328,417	86,316,806	
減価償却費(c)		4,003,193	2,811,796	6,814,989	
トータルコスト(a+b+c)		62,991,582	30,140,213	93,131,795	
行政コスト	業務委託料	31,816,226	26,942,000	58,758,226	
	その他行政支出額	20,784,880	3,370	20,788,250	
	合計	52,601,106	26,945,370	79,546,476	
年間利用者数(人)		14,741	3,489	18,230	
利用者1人当たりの行政コスト(円)		3,568	7,723	4,363	

※1：光熱水費の合計での費用負担のため内訳不明

運営コストの内訳は、事業運営費が約 7,819 万円（約 91%）、光熱水費が約 258 万円（約 3%）、建物管理委託料が約 194 万円（約 2%）、公有財産・備品購入費が約 133 万円（約 2%）です。

図 全体の運営コストの内訳（2010 年度（平成 22 年度））

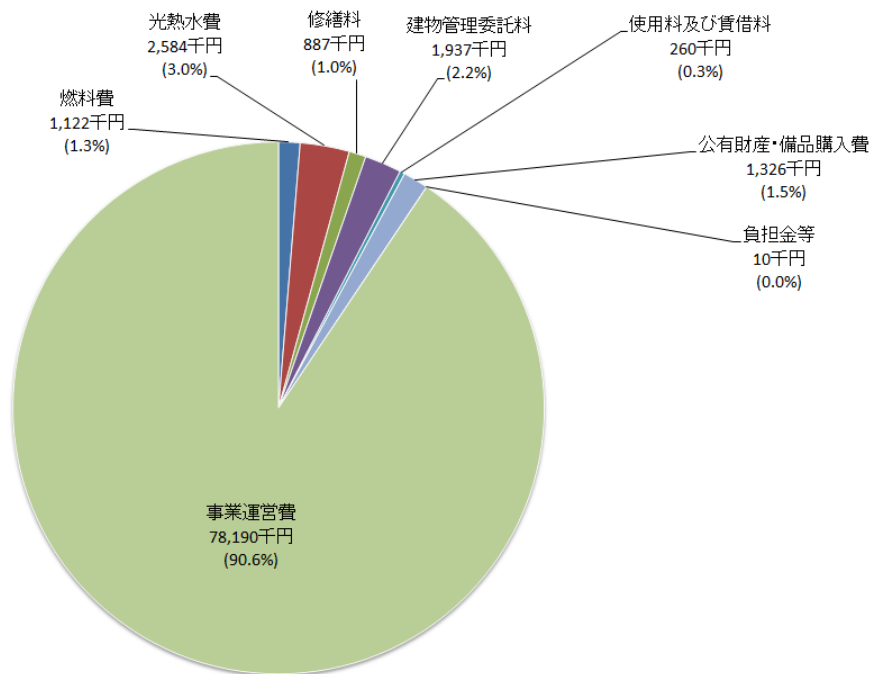
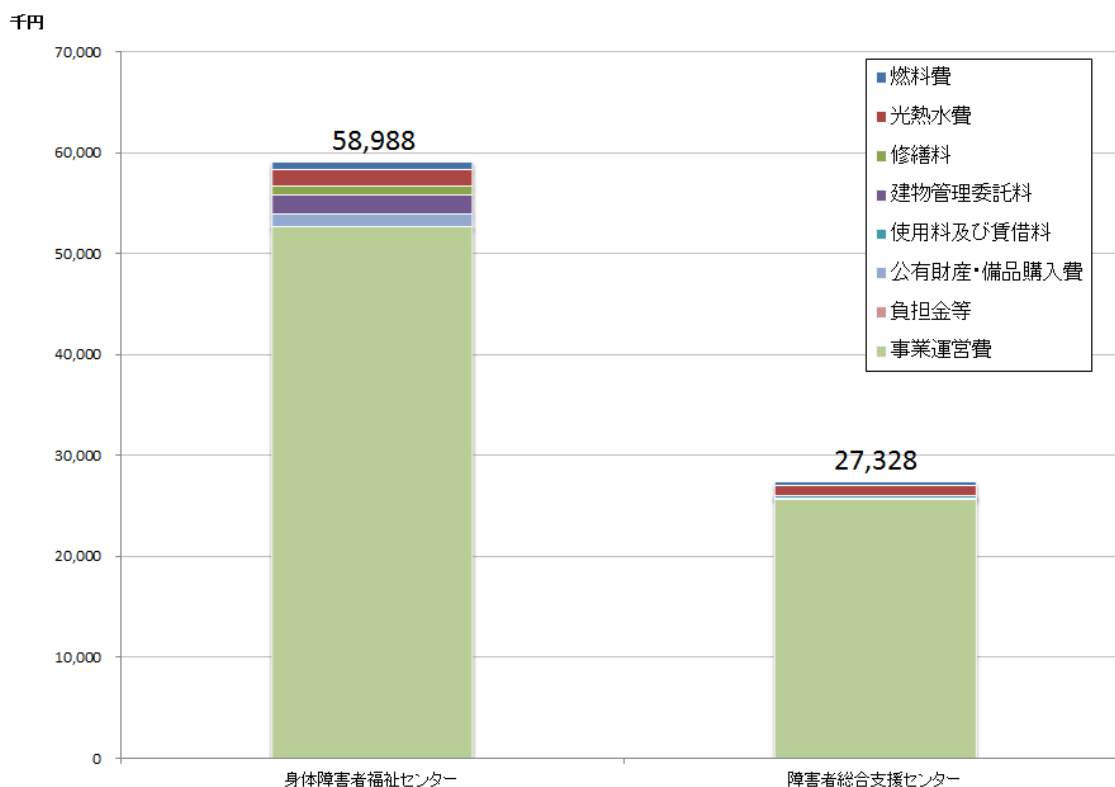


図 施設別の運営コストの内訳（2010 年度（平成 22 年度））



■ 維持管理経費（光熱水費、修繕料、建物管理委託料）

障害者福祉施設全体の維持管理経費（光熱水費、修繕料、建物管理委託料）として、約 541 万円が支出されています。内訳は、光熱水費が約 258 万円（約 48%）、修繕料が約 89 万円（約 16%）、建物管理委託料が約 194 万円（約 36%）です。

施設別には、身体障害者福祉センターでは約 436 万円、障害者総合支援センターでは約 105 万円で、これを施設の延床面積 1 m²当たりの維持管理経費で見ると平均は 4,153 円で、身体障害者福祉センターでは約 5,696 円、障害者総合支援センターでは約 1,955 円です。

表 施設別の 1 m²当たりの維持管理経費（2010 年度（平成 22 年度））

		(円)			
		身体障害者福祉センター	障害者総合支援センター	合計	平均
延床面積(m ²)		764.99	537.32	1,302.31	651.16
維持管理経費	光熱水費	1,601,910	982,033	2,583,943 (47.8%)	1,291,972
	修繕料	860,800	26,250	887,050 (16.4%)	443,525
	建物管理委託料	1,894,954	42,000	1,936,954 (35.8%)	968,477
	合計	4,357,664	1,050,283	5,407,947 (100.0%)	2,703,974
1 m ² 当たりの維持管理経費	光熱水費	2,094	1,828	-	1,984
	修繕料	1,125	49	-	681
	建物管理委託料	2,477	78	-	1,487
	合計	5,696	1,955	-	4,153

■ 将来コスト

今後 40 年間に於ける大規模改修、建替え及び耐震改修に必要な投資的経費と維持管理費の合計は約 11 億 1,000 万円、年平均で約 3,000 万円と見込まれます。

このうち、当面の 10 年間に必要なコストは、両センターの大規模改修のための投資的経費約 3 億 2,000 万円と、両センターの維持管理費約 8,000 万円で、合計約 4 億円となり、年平均では約 4,000 万円と見込まれます。

表 施設の維持に必要なコスト

(億円)

	40年間で 必要な コスト	直近10年間で必要なコスト		
		身体障害者 福祉センター	障害者総合 支援センター	合計
投資的経費				
大規模改修	3.3	1.9	1.3	3.2
建替え	4.5	-	-	-
耐震改修	-	-	-	-
計	7.8	1.9	1.3	3.2
(年平均)	(0.20)	(0.19)	(0.13)	(0.32)
維持管理費等	3.3	0.6	0.2	0.8
合計	11.1	2.5	1.5	4.0
(年平均)	(0.28)	(0.25)	(0.15)	(0.40)

図 今後 40 年間で施設の維持に必要なコストの内訳

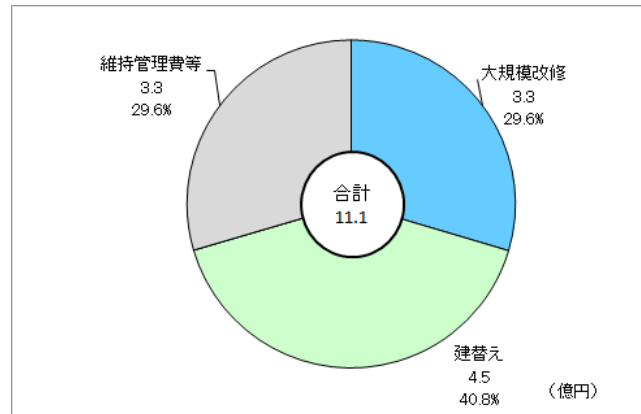
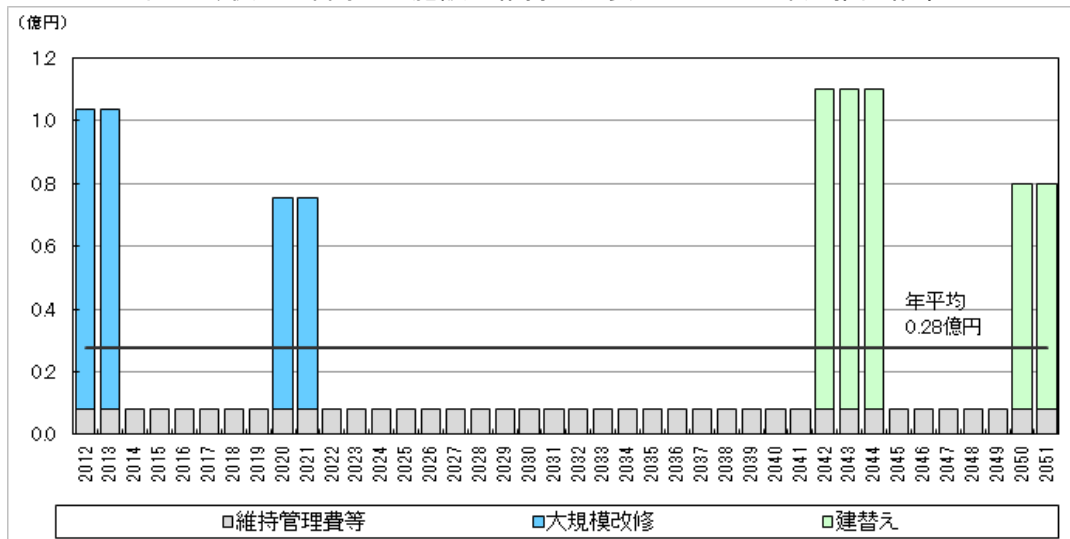


図 今後 40 年間で施設の維持に必要なコストの年別推計結果



※各将来コストの算定方法は巻末を参照

(7) 評価（まとめ）**■ 現状・課題**

施設の保有状況	<p>➤障害者福祉施設は、身体障害者福祉センターと障害者総合支援センターの2か所、延床面積1,302㎡を保有しています。</p>
建物状況	<p>➤施設の築年数は、身体障害者福祉センターが築30年、障害者総合支援センターが築22年です。</p> <p>➤バリアフリー化は、一部を除きほぼ対応済みですが、環境への負荷を低減させる設備は設置されていません。</p>
利用・運営状況	<p>➤2010年度（平成22年度）の年間利用者数は、身体障害者福祉センターは14,741人、障害者総合支援センターは3,489人です。</p> <p>➤2施設とも業務委託により運営されています。</p>
防災対応状況	<p>➤2施設とも耐震性が確保されています。</p> <p>➤地域防災計画上の位置付けはありません。</p>
コスト状況	<p>➤2010年度（平成22年度）の運営コストは約8,600万円で、事業運営費が約91%、建物に係るコストが約9%で、市の財政からの支出（行政コスト）は業務委託料を含む約8,000万円です。</p> <p>➤利用者1人当たりの行政コストは平均4,363円で、身体障害者福祉センターが3,568円、障害者総合支援センターが7,723円です。また、延床面積1㎡当たりの維持管理経費は平均で4,153円です。</p> <p>➤今後40年間に必要な将来コスト（事業運営費を除く）は約11億1,000万円（年平均約3,000万円）で、当面10年間では、両センターの大規模改修のために約3億2,000万円の投資的経費が必要になります。</p>

■ 改善の方向性

- 身体障害者福祉センター（1982年（昭和57年）築）、障害者総合支援センター（1990年（平成2年）築）ともに老朽化や耐震面での問題はありません。
- 施設の長寿命化や計画的な維持管理について検討していく必要があります。

3. 4 社会福祉施設

(1) 施設の概要

■ 設置の目的

社会福祉協議会は、民間の社会福祉活動を推進することを目的とした営利を目的としない民間組織です。1951年（昭和26年）に制定された社会福祉事業法（現在の「社会福祉法」）に基づき設置されています。社会福祉関係者、保健・医療・教育など関係機関の参加・協力のもと、地域の人びとが住み慣れたまちで安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」の実現をめざしたさまざまな活動を行っています。

市民交流センターは、舞鶴市市民交流センター設置条例に基づき設置され、地域社会全体の中で福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談事業や人権課題の解決のための各種事業を総合的に行うことを目的としています。

■ 保有施設

社会福祉協議会 1 か所、市民交流センター5 か所、延床面積 2,617 m²を保有しています。このうち、社会福祉協議会は、中総合会館内に設けられています。

表 施設一覧（2012年度（平成24年度））

施設名称	地区	所管課	施設形態	延床面積 (m ²)	建築年 ^{※1}	建築年数 ^{※2}
社会福祉協議会	東地区	保健福祉企画課	複合	494.64	2000	12
北浜市民交流センター	東地区	啓発推進課	単独	504.40	1974	38
市場市民交流センター	東地区	啓発推進課	単独	347.07	1977	35
荒田市民交流センター	東地区	啓発推進課	単独	464.92	1978	34
長浜市民交流センター	東地区	啓発推進課	単独	343.72	1978	34
福来市民交流センター	西地区	啓発推進課	単独	461.91	1977	35

※1 建築年：一番古い棟の年を記載している。

※2 建築年数：2012年（平成24年）を基準年として算出している。

■ 配置状況

図 施設配置



■ スペース構成

表 スペース構成

施設名称	諸 室						備 考 (同一の建物内にある他の施設)
	ホール	図書館	料理 教室	会議室	多目的 室	その他	
社会福祉協議会	×	×	×	●	×	事務室	・中総合会館 中央公民館 中コミュニティセンター 中デイサービスセンター 保健センター 男女共同参画センター 中舞鶴地域包括支援センター 子育て支援基幹センター
北浜市民交流センター	×	×	●	●	×	子ども会館 学習図書室 談話室、相談室 事務室	
市場市民交流センター	×	×	●	●	×	学習図書室 相談室、集会室 研修室、事務室	
荒田市民交流センター	×	×	●	●	×	学習図書室 和室、事務室 集会室	
長浜市民交流センター	×	×	●	●	×	料理研修室 学習図書室 集会室、事務室	
福来市民交流センター	×	×	●	●	●	学習室、集会室 研修室 事務相談室	

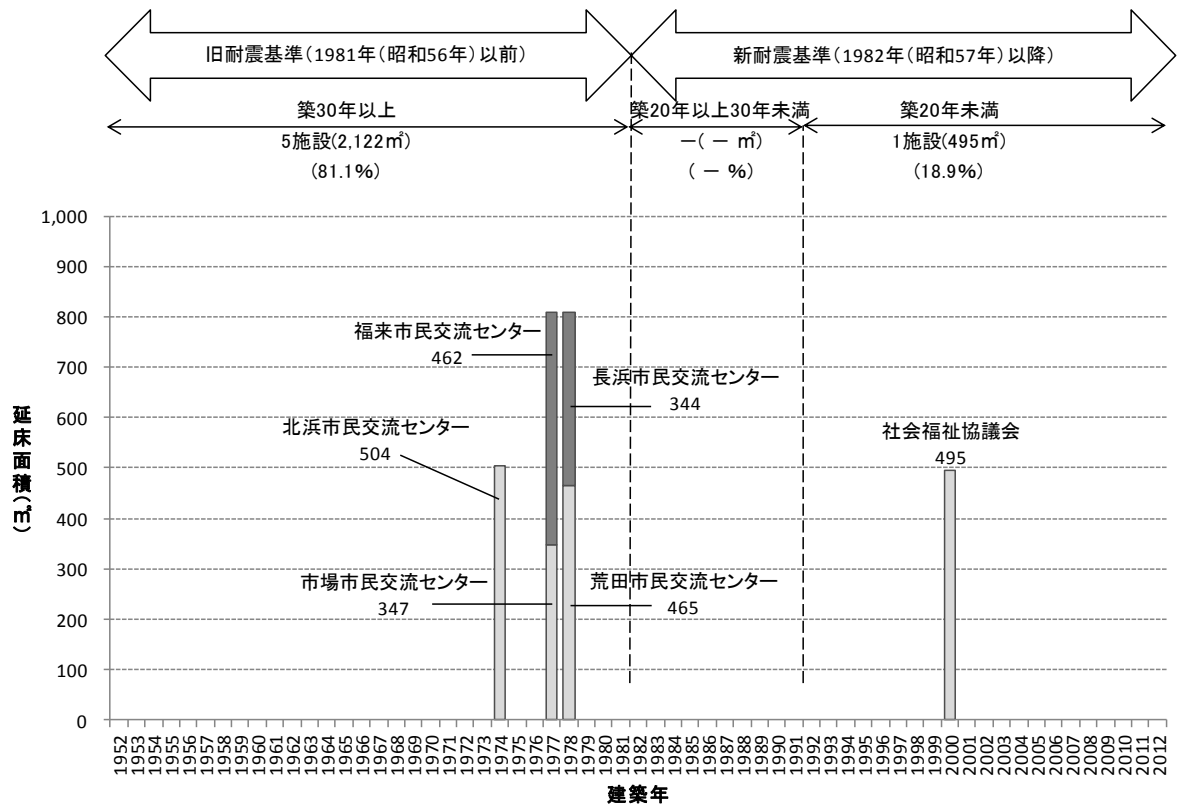
※ 「●・・・あり」、「×・・・なし」を表している。

(2) 建物状況

■ 老朽化

社会福祉協議会が入る中総合会館は2000年（平成12年）の開設で、築12年と比較的新しい施設ですが、市民交流センターはすべて築30年以上経過しています。

図 築年別整備状況



※ 建築年が複数回に分かれるものについては、一番古い建築年で示している。

■ 機能改善、環境負荷低減

バリアフリー化は、一部を除いて概ね対応済みです。

環境への負荷を低減させる設備は、社会福祉協議会が入る中総合会館に自然エネルギー・太陽光発電施設が設置されていますが、その他の施設では設置されていません。

表 機能改善等の状況

		社会福祉協議会	北浜市民交流センター	市場市民交流センター	荒田市民交流センター	長浜市民交流センター	福来市民交流センター
バリアフリー化	車いす用エレベーター	●	×	×	×	×	×
	身障者用トイレ	●	●	●	●	●	●
	車いす用スロープ	不要	●	●	●	●	●
	自動ドア	●	●	●	●	●	●
	手すり	▲	●	●	●	●	●
	点字ブロック	●	●	●	●	●	●
環境負荷低減	自然エネルギー・太陽光発電	●	×	×	×	×	×
	屋上緑化・壁面緑化	×	×	×	×	×	×
	環境対応設備	×	×	×	×	×	×

※ 「●・・・設置済み」、「▲・・・一部設置」、「×・・・設置なし」を表している。

※ 社会福祉協議会が入る中総合会館は段差がないため、車いす用スロープは不要。

(3) 利用状況

■ 利用者数

市民交流センター全体の年間利用者数は約 33,100 人ですが、北浜市民交流センターでは約 10,050 人、荒田市民交流センターでは 4,200 人と、施設により利用者数にばらつきがあります。

表 利用者数（2010 年度（平成 22 年度））

施設名称	年間運営日数	年間利用者数	1日当たり利用者数
	日	人	人/日
北浜市民交流センター	291	10,052	34.5
市場市民交流センター	243	5,695	23.4
荒田市民交流センター	243	4,200	17.3
長浜市民交流センター	243	6,365	26.2
福来市民交流センター	243	6,793	28.0
合計		33,105	

(4) 運営状況

■ 運営方法、運営日数

社会福祉協議会は、中総合会館に事務局を設置し運営されています。市民交流センターはすべて直営により運営されています。

社会福祉協議会、市民交流センターとも年間運営日数は 243 日です（北浜市民交流センターのみ 291 日）。全施設とも運営時間は 8 時 30 分から 17 時までです。

表 運営方法・運営日数

施設名称	運営方法	年間運営日数	定休日(曜日)	開所時間	閉所時間
社会福祉協議会	その他	243	土日祝	8:30	17:00
北浜市民交流センター	直営	291	土日祝	8:30	17:00
市場市民交流センター	直営	243	土日祝	8:30	17:00
荒田市民交流センター	直営	243	土日祝	8:30	17:00
長浜市民交流センター	直営	243	土日祝	8:30	17:00
福来市民交流センター	直営	243	土日祝	8:30	17:00

※ 北浜市民センターは日曜日にも事業を行っている日があるため運営日数が他より多い。

■ 運営人員

社会福祉協議会は、協議会の職員 8 名、市民交流センターは、職員及び嘱託職員が各 1 名配置されています。

表 運営人員

施設名称	職員	嘱託職員	臨時職員	指定管理者等の従業員	合計(人)
社会福祉協議会	0	0	0	8	8
北浜市民交流センター	1	1	0	0	2
市場市民交流センター	1	1	0	0	2
荒田市民交流センター	1	1	0	0	2
長浜市民交流センター	1	1	0	0	2
福来市民交流センター	1	1	0	0	2

※指定管理者等の従業員数は、1日当たりの人数

(5) 防災状況

■ 防災設備状況

耐震診断は、市民交流センターで実施されていません。

地域防災計画上の位置付けは、全施設で避難所に指定されており、状況に応じて応急給水場所が設置されます。

避難所機能は、社会福祉協議会が入る中総合会館では、調理設備、代替電源設備及び冷暖房設備が設置されており、すべての市民交流センターでは、調理設備及び冷暖房設備が設置されています。

表 防災設備状況

		社会福祉協議会	北浜市民交流センター	市場市民交流センター	荒田市民交流センター	長浜市民交流センター	福来市民交流センター
耐震性	耐震診断	不要	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施
	耐震補強	不要	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施
地域位置付け画での	災害対策本部	—	—	—	—	—	—
	避難所	●	●	●	●	●	●
	応急給水場所	●	●	●	●	●	●
	医療救護所	×	×	×	×	×	×
避難所機能	災害用備蓄	×	×	×	×	×	×
	通信設備	×	×	●	×	×	×
	簡易トイレ	×	×	×	×	×	×
	マンホールトイレ	×	×	×	×	×	×
	調理設備	●	●	●	●	●	●
	代替電源設備	●	×	×	×	×	×
	冷暖房設備	●	●	●	●	●	●
	入浴施設	×	×	×	×	×	×

※ 「●・・・あり」、「×・・・なし」を表している。

※ 耐震性の基準は、基本的に非木造の2階建て以上又は延床面積200㎡超の建物を対象とした市の調査に基づき、次のように分類している。

- ・対象外：上記の対象にならない建物
- ・不要：上記の対象建物の内、1981年（昭和56年）6月以降建築の建物、又は耐震診断を実施し耐震補強の必要がない建物
- ・実施済：上記の対象建物の内、診断・補強を実施した建物
- ・未実施：上記の対象建物の内、診断・補強を実施していない建物

■ 自然災害に対する安全性

ハザードマップ（洪水）で見ると、すべての施設が浸水想定区域外です。

(6) コスト状況

■ 運営コスト

2010 年度（平成 22 年度）の各施設の運営にかかるコストの状況は以下のとおりで、年間約 1 億 600 万円をかけて運営されており、その全額が市の財政からの支出（行政コスト）です。

市民交流センター全体の利用者 1 人当たりの行政コストの平均は 2,106 円で、最も低いのが北浜市民交流センターの 1,461 円、最も高いのが荒田市民交流センターの 3,353 円となり、施設間でばらつきがあります。

表 施設別の運営コスト（2010 年度（平成 22 年度））

(円)

		社会福祉協議会	北浜市民交流センター	市場市民交流センター	荒田市民交流センター	長浜市民交流センター	福来市民交流センター	合計	
建物に係るコスト (維持管理費等)	燃料費	0	0	0	0	0	0	0	
	光熱水費	電気代	936,357	470,293	463,532	645,360	631,253	635,561	3,782,356
		油代	438,966	0	0	0	0	0	438,966
		ガス代	26,793	6,218	16,901	7,476	10,248	89,256	156,892
		上下水道代	168,359	36,258	31,406	33,464	30,984	56,688	357,159
	計	1,570,475	512,769	511,839	686,300	672,485	781,505	4,735,373	
	修繕料	114,937	356,968	10,500	172,200	101,850	159,180	915,635	
	建物管理委託料	1,182,162	768,000	491,195	783,913	581,194	519,287	4,325,751	
	賃借料・ 使用料	地代	172,105	285,000	0	0	0	0	457,105
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	計	172,105	285,000	0	0	0	0	457,105	
	工事請負費	0	0	0	0	0	0	0	
	公有財産・備品購入費	0	132,899	154,668	223,760	126,815	139,173	777,315	
	負担金等	15,969	3,157	2,460	3,522	2,677	3,508	31,293	
合計(a)	3,055,648	2,058,793	1,170,662	1,869,695	1,485,021	1,602,653	11,242,472		
事業運営費	人件費	33,127,000	11,334,187	10,991,076	11,110,471	10,917,588	11,995,978	89,476,300	
	その他	0	1,290,140	1,138,777	1,100,395	832,322	808,030	5,169,664	
	合計(b)	33,127,000	12,624,327	12,129,853	12,210,866	11,749,910	12,804,008	94,645,964	
運営コスト(a+b)	36,182,648	14,683,120	13,300,515	14,080,561	13,234,931	14,406,661	105,888,436		
減価償却費(c)	4,383,489	727,417	713,333	1,021,500	824,333	756,100	8,426,172		
トータルコスト(a+b+c)	40,566,137	15,410,537	14,013,848	15,102,061	14,059,264	15,162,761	114,314,608		
行政コスト	指定管理委託料	0	0	0	0	0	0	0	
	その他行政支出額	36,182,648	14,683,120	13,300,515	14,080,561	13,234,931	14,406,661	105,888,436	
	合計	36,182,648	14,683,120	13,300,515	14,080,561	13,234,931	14,406,661	105,888,436	
年間利用者数(人)	-	10,052	5,695	4,200	6,365	6,793	※1 33,105		
利用者1人当たりの行政コスト(円)	-	1,461	2,335	3,353	2,079	2,121	※1 2,106		

※1：年間利用者数及び利用者 1 人当たりの行政コストはいずれも社会福祉協議会を除く 5 センターでの合計または平均値

運営コストの内訳は、事業運営費が約 9,465 万円（約 89%）、光熱水費が約 474 万円（約 5%）、建物管理委託料が約 433 万円（約 4%）です。

図 全体の運営コストの内訳（2010 年度（平成 22 年度））

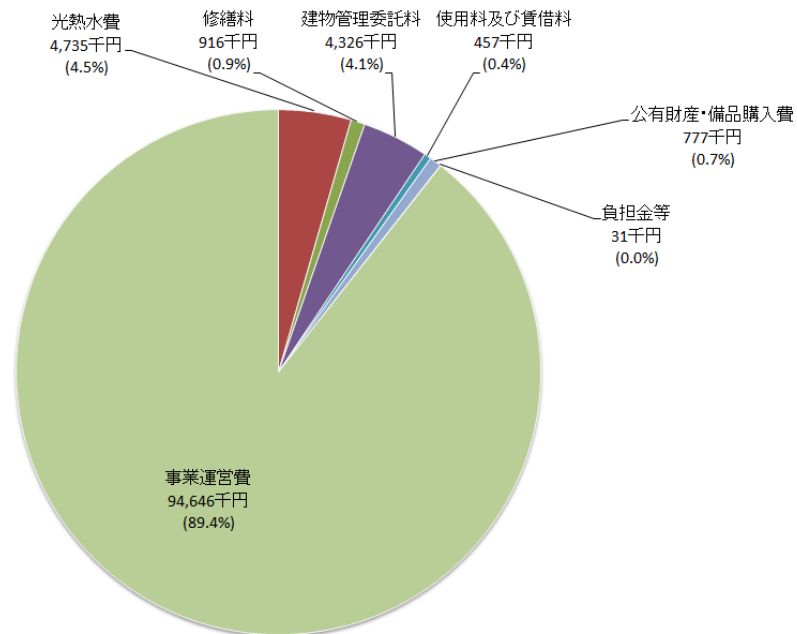
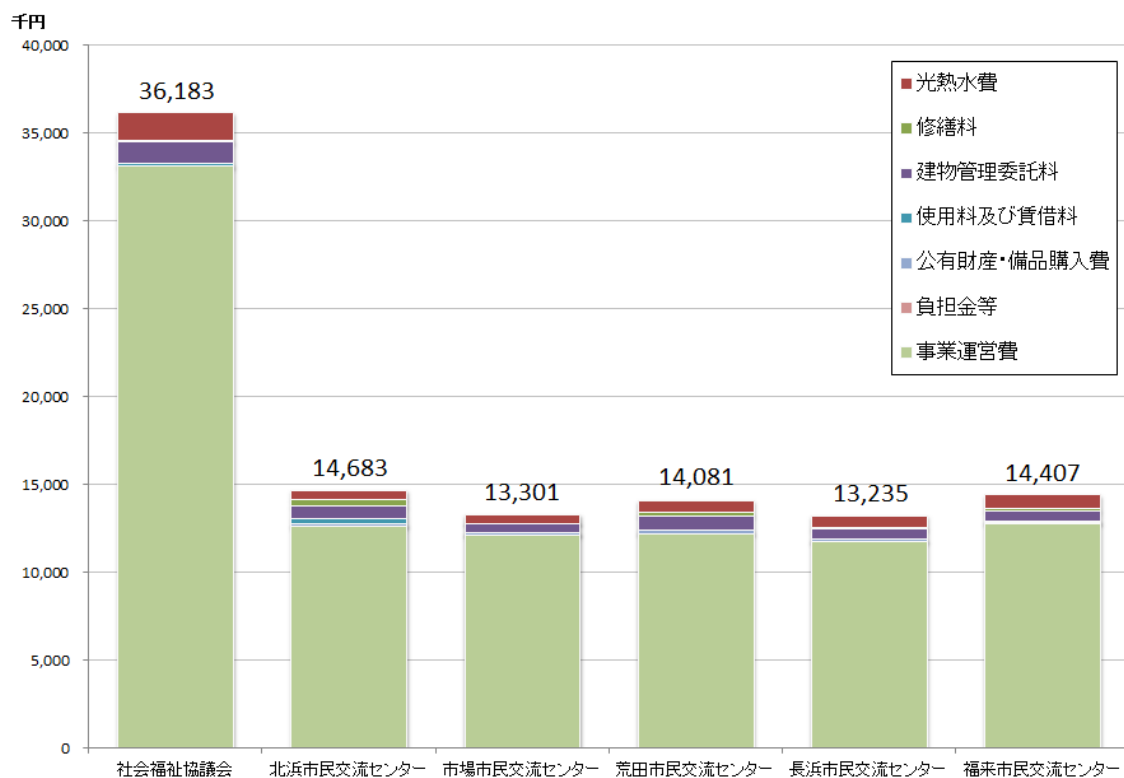


図 施設別の運営コストの内訳（2010 年度（平成 22 年度））



■ 維持管理経費（光熱水費、修繕料、建物管理委託料）

社会福祉施設全体の維持管理経費（光熱水費、修繕料、建物管理委託料）として、約 998 万円が支出されています。内訳は、光熱水費が約 474 万円（約 48%）、修繕料が約 92 万円（約 9%）、建物管理委託料が約 433 万円（約 43%）です。

施設別には、約 101 万円（市場市民交流センター）から約 287 万円（社会福祉協議会）で、これを施設の延床面積 1 m²当たりの維持管理経費で見ると平均は 3,813 円で、最も低いのが市場市民交流センターの 2,920 円、最も高いのが社会福祉協議会の 5,797 円となり、施設間で若干ばらつきがあります。交流センターだけをみた場合、2,920 円から 3,944 円と、同程度の単価で維持管理されています。

表 施設別の 1 m²当たりの維持管理経費（2010 年度（平成 22 年度））

(円)

		社会福祉協議会	北浜市民交流センター	市場市民交流センター	荒田市民交流センター	長浜市民交流センター	福来市民交流センター	合計	平均
延床面積(m ²)		494.64	504.40	347.07	464.92	343.72	461.91	2,616.66	436.11
維持管理経費	光熱水費	1,570,475	512,769	511,839	686,300	672,485	781,505	4,735,373 (47.5%)	789,229
	修繕料	114,937	356,968	10,500	172,200	101,850	159,180	915,635 (9.2%)	152,606
	建物管理委託料	1,182,162	768,000	491,195	783,913	581,194	519,287	4,325,751 (43.4%)	720,959
	合計	2,867,574	1,637,737	1,013,534	1,642,413	1,355,529	1,459,972	9,976,759 (100.0%)	1,662,793
1 m ² 当たり維持管理経費	光熱水費	3,175	1,017	1,475	1,476	1,956	1,692	-	1,810
	修繕料	232	708	30	370	296	345	-	350
	建物管理委託料	2,390	1,523	1,415	1,686	1,691	1,124	-	1,653
	合計	5,797	3,247	2,920	3,533	3,944	3,161	-	3,813

■ 将来コスト

今後40年間における大規模改修、建替え及び耐震改修に必要な投資的経費と維持管理費の合計は約14億8,000万円、年平均で約4,000万円と見込まれます。

このうち当面の10年間に必要なコストは、すべての市民交流センターで耐震改修が必要なための投資的経費約6,000万円と、全施設の維持管理費約1億1,000万円で、合計約1億7,000万円となり、年平均では約2,000万円と見込まれます。

表 施設の維持に必要なコスト

(億円)

	40年間で必要なコスト	直近10年間で必要なコスト							合計
		社会福祉協議会	北浜市民交流センター	市場市民交流センター	荒田市民交流センター	長浜市民交流センター	福来市民交流センター		
投資的経費									
大規模改修	1.2	-	-	-	-	-	-	-	-
建替え	8.5	-	-	-	-	-	-	-	-
耐震改修	0.6	-	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.6
計	10.3	-	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.6
(年平均)	(0.26)	-	(0.02)	(0.01)	(0.01)	(0.01)	(0.01)	(0.01)	(0.06)
維持管理費等	4.5	0.3	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.2	1.1
合計	14.8	0.3	0.4	0.2	0.3	0.2	0.3	0.3	1.7
(年平均)	(0.37)	(0.03)	(0.04)	(0.02)	(0.03)	(0.02)	(0.03)	(0.03)	(0.17)

図 今後40年間で施設の維持に必要なコストの内訳

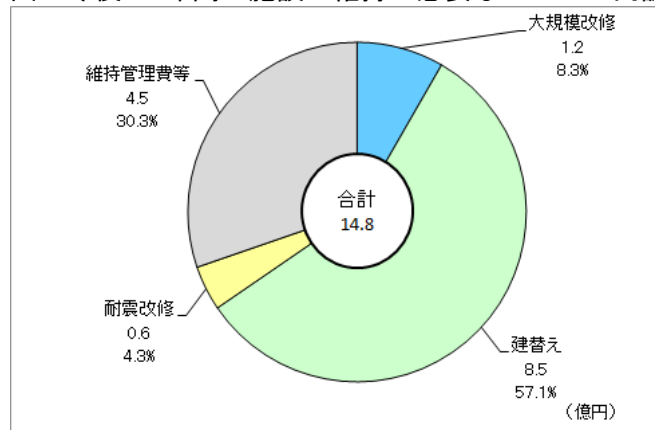
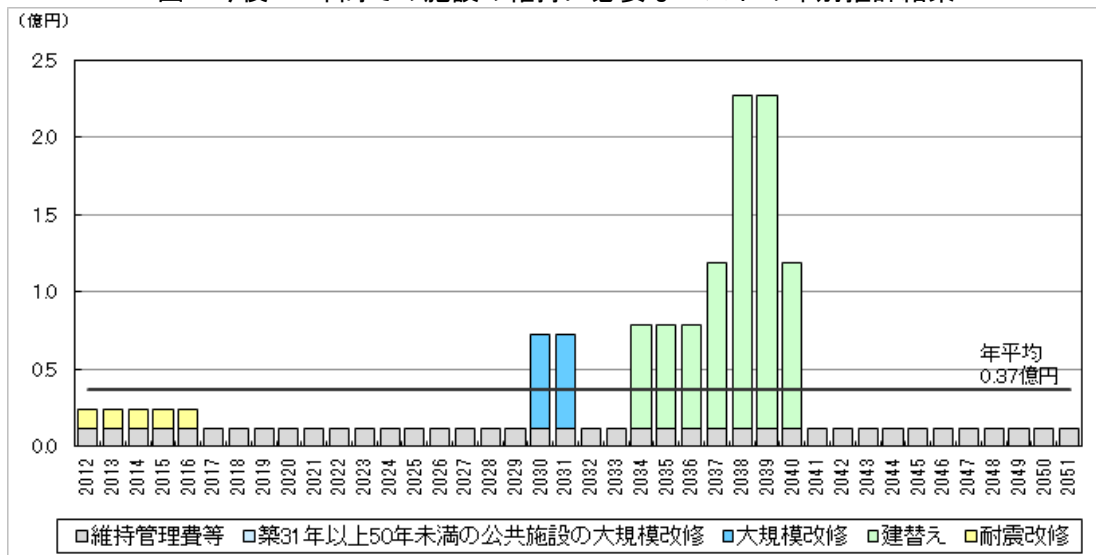


図 今後40年間の施設の維持に必要なコストの年別推計結果



※各将来コストの算定方法は巻末を参照

(7) 評価（まとめ）**■ 現状・課題**

施設の保有状況	<p>➤社会福祉協議会 1 か所、市民交流センター5 か所、延床面積 2,617 m²を保有しています。このうち、社会福祉協議会は中総合会館内に設けられています。</p>
建物状況	<p>➤社会福祉協議会が入る中総合会館は 2000 年（平成 12 年）の開設で、築 12 年と比較的新しい施設ですが、市民交流センターはすべて築 30 年以上経過しています。</p> <p>➤バリアフリー化は、一部を除いて概ね対応済みです。</p> <p>➤環境への負荷を低減させる設備は、社会福祉協議会が入っている中総合会館に自然エネルギー・太陽光発電施設が設置されていますが、その他の施設では設置されていません。</p>
利用・運営状況	<p>➤2010 年度（平成 22 年度）の市民交流センター全体の年間利用者数は約 33,100 人ですが、北浜市民交流センターでは約 10,050 人、荒田市民交流センターでは 4,200 人と、施設によりばらつきがあります。</p> <p>➤社会福祉協議会は、中総合会館に事務局を設置し運営されています。市民交流センターはすべて直営により運営されています。</p>
防災対応状況	<p>➤耐震診断は市民交流センターで実施されていません。</p> <p>➤地域防災計画上の位置付けは、すべて避難所に指定されています。</p>
コスト状況	<p>➤2010 年度（平成 22 年度）の運営コストは約 1 億 600 万円で、事業運営費が約 89%、建物に係るコスト（維持管理費等）が約 11%で、全額が市の財政からの支出（行政コスト）です。</p> <p>➤利用者 1 人当たりの行政コストは平均 2,106 円で、1,461 円（北浜市民交流センター）から 3,353 円（荒田市民交流センター）の間です。また、延床面積 1 m²当たりの維持管理経費は平均で 3,813 円です。</p> <p>➤今後 40 年間に必要な将来コスト（事業運営費を除く）は約 14 億 8,000 万円（年平均約 4,000 万円）です。当面 10 年間では市民交流センター5 か所の耐震改修で約 6,000 万円の投資的経費が必要になります。</p>

■ 改善の方向性

- 社会福祉協議会のある中総合会館は、2000 年（平成 12 年）に建築された新しい建物で、老朽化や防災面での問題はありません。
- 5 か所の市民交流センターは、災害時の避難所に指定されていますが、老朽化が進み、耐震性の不足が懸念されるため、対応を検討する必要があります。